

チェックリスト

脳の病気やケガをしたことがある
はい・いいえ

(高次脳機能障害ではありません)

記憶障害に関すること

友だちや担任の名前、日付を覚えられない

何度も同じことを言ったり、聞いたりする

暗記科目が苦手(漢字、社会等)

ちょっと前に言われたことでも「聞いていない」という

一度覚えたことに対する修正がきかない

注意障害に関すること

集中力がなく、すぐに飽きて目についたものを触ったり、席を立ったりする

ちょっとした音や周囲の動きに反応し、気が散りやすい

高学年になっても同時に2つのことをすると混乱する

話しの筋が飛ぶ等、要領の得ない話しになる

授業中、先生の説明にボーっとしたり、反応が鈍くなりやすい

遂行機能障害に関すること(高学年になると目立つ)

行事等、急な予定の変更があると混乱する

作文や感想文をどう書いたらよいかわからない

次の授業の準備を自分からすることができない

今、何をしたらよいかわからず、いちいち声かけが必要

段取り良く作業ができない(計画的に行動できない)

社会的行動障害に関すること

やりたいことを我慢することができない(すぐに怒ったり、キレやすい)

気持ちの切り替えができず、しつこい

場の雰囲気無頓着で、思ったことを言ったり行動する

学校で頑張りすぎ疲れてしまい、家庭では機嫌が悪く、家族に当たり散らす

ことばや振る舞いが年齢よりも幼い印象がある

易疲労性に関すること

直前まで元気なのに、突然疲れが出て眠ってしまう

あくびが出る、ハイテンションになる等、疲れの前兆にきづきにくい

頭痛がする(天候に左右されたり、行事前になるとその傾向がある)

出かけたあとや学校から帰ると、眠気を訴えることが多い



引用：東京都心身障害者福祉センター作成(一部改編)

相談機関

■高次脳機能障害に関する相談機関

○拠点機関

名称	所在地	電話番号
長崎県高次脳機能障害支援センター	〒852-8114 長崎市橋口町10-22	(095)844-5515

(ご利用時間)月曜日～金曜日 9:00～17:45 (祝日、年末年始はお休みです)

○地域の相談窓口

名称(担当窓口)	所在地	電話番号
西彼保健所(地域保健課)	〒852-8061 長崎市滑石1-9-5	(095)856-5159
県央保健所(地域保健課)	〒854-0081 諫早市栄田町26-49	(0957)26-3306
県南保健所(地域保健課)	〒855-0043 島原市新田町347-9	(0957)62-3289
県北保健所(地域保健課)	〒859-4807 平戸市田平町里免1126-1	(0950)57-3933
五島保健所(企画保健課)	〒853-0007 五島市福江町7-2	(0959)72-3125
上五島保健所(企画保健課)	〒857-4211 南松浦郡新上五島町有川郷2254-17	(0959)42-1121
壱岐保健所(企画保健課)	〒811-5133 壱岐市郷ノ浦町本村触620-5	(0920)47-0260
対馬保健所(企画保健課)	〒817-0011 対馬市厳原町宮谷224	(0920)52-0166
長崎市保健所(地域保健課)	〒850-0031 長崎市桜町6-3	(095)829-1153
佐世保市保健所(障がい福祉課)	〒857-0042 佐世保市高砂町5-1	(0956)24-1111

■学校教育に関する相談機関

名称(担当窓口)	所在地	電話番号
長崎県教育センター(特別支援教育研修班)	大村市玖島1-24-1	(0957)53-1130
市町教育委員会	最寄りの教育委員会へお尋ねください	

こども版

高次脳機能障害

かもしれません..

交通事故・脳炎・脳腫瘍摘出手術の後に
以前にはあまりなかった症状はありませんか？

すぐ怒る



忘れる



つかれる



何か変..

前とちがう。



高次脳機能障害とは・・・

病気や事故の後遺症としてみられる障害です。

- 生活の中でそれまで出来ていたことが出来なくなって、生活しづらくなります。
- しかし、一見してわかりにくく、「見えない障害」ともいわれています。
- 詳しい症状については、右記のとおりです。

こどもの高次脳機能障害の特徴

- 受傷した年齢や原因によって、状態像が異なります。
- 就学後に、症状が目立つことが多いです。
- 発達や周りの環境によって、症状が変化します。
- 二次障害の予防が必要です。
- 発達障害は、生まれつきの脳機能の障害が原因で生じる**先天性**の障害ですが、高次脳機能障害は、脳損傷後に生じる**後天性**の障害です。

高次脳機能障害が疑われたら・・・

- チェック項目で確認してみましょう。
- 脳の病気やケガのあと、このような症状が増えたら高次脳機能障害かもしれません。
- 症状によっては、各種障害者手帳（身体障害・知的障害・精神障害）の取得や福祉サービスの利用をすることができます。
- 身近な人に相談することが大切です。（相談窓口は、裏面中央に記載しています）

高次脳機能障害は、病気や事故の後遺症としてみられる障害です



日常生活や学校生活において、症状が現れることがあります。

原因

交通事故や転落などによる脳外傷



急性脳炎
脳腫瘍摘出手術後



溺水などによる
低酸素脳症



もやもや病・脳血管の奇形による出血などの
脳血管障害



症状

記憶障害



さっき言ったことや言われたことを忘れるなど、新しいことが覚えられず、生活や学習に支障をきたします。

注意障害



落ち着かなかったり、ボーっとしたり、物事に集中できないため、日常生活の物事ははかどりにくくなります。

遂行機能障害



段取りよく行動すること、目標を立てて達成することができにくくなります。

社会的行動障害



状況に適した行動が取りにくく、感情のコントロールが難しくなります。

早期診断・早期支援が大切です。
まずは、ご相談ください。

